

ウチヤマタイムズ



2017
No.181



発行所：(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話：093-551-0002

発行日：平成29年2月24日
編集：岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里
監修：内山文治・吉岡信之

東証一部上場
(証券コード：6059)

さわやか おおみや館が 優勝！ 第2回 症例発表大会

二月二十一日、さわやか倶楽部の「第2回症例発表大会」が行われました。症例発表とは、介護施設の入居者様に対して機能回復や病状の改善に取り組み、実際に症状が良くなった事例を発表するというものです。

各施設で行われている症例発表の中から、エリアごとに最も内容の優れた施設を選び、地域を代表する十施設が本社に集まって最終プレゼンを行いました。参加者全員による審査の結果、最優秀賞に「さわやかおおみや館」、優秀賞に「さわやか直方館」「さわやかなんよう館」がそれぞれ選ばれ、竹村専務から表彰状の授与が行われました。

【症例発表大会参加施設】

- 北海道・東北・北陸エリア さわやか桜式番館
- 「心に寄り添う介護」ユマニチュードの実践」
- 関東エリア さわやかおおみや館
- 「笑顔を取り戻す為に」職員との関わりを通して」
- 中部・関西・中国・四国エリア さわやかなんよう館
- 「認知症改善」チームケアによる支援」
- 北九州第1エリア グループホームみどりのき
- 「笑顔の復活！あきらめない！」
- 北九州第2エリア グループホームかがやき
- 「笑顔をいつまでも」
- 北九州第3エリア さわやか清田館
- 「二〇三歳の新たな挑戦」
- 北九州第4エリア さわやか直方館
- 「ホームレスから一変させた人生」第二の人生を歩み始めたY氏の症例」
- 福岡第1エリア さわやかいそつだ館
- 福岡第2エリア さわやかいずみ館
- 「外の世界に踏み出せる後押し」QOLの向上と再生を目指して」
- 特別参加 社会福祉法人さわやか会 さわやか大正浪漫館
- 「NO(できない)とは言わない」やってみようから始まるサービス」



さわやかおおみや館

最優秀賞 さわやかおおみや館 弓削田副施設長よりご挨拶

この度は症例発表の最優秀賞を頂きましてありがとうございます。昨年十月に小林様が入所されてから、この四か月間で私たちは多くの事を学び、多くの事に感動し、生きることの素晴らしさを学びました。

小林様が入居されたとき、食事は少量は少なく日中も半覚醒状態が続く、職員の中にも戸惑いの声がありました。しかし、「ラテラルサービスの言葉通り職種を超えておおみや館のスタッフ全員で対応するうちに、職員の戸惑いもなくなりました。今ではご自身で食事召し上がり、今日もフロアにて他の入居者様とお話をされています。

今回小林様の為に考えた多くのことが、おおみや館全体のスキルアップに繋がっており、自信となりました。また小林様の笑顔、家族様からの感謝の言葉、最優秀賞という形として評価して頂いたことに感謝しています。ありがとうございます。これからもおおみや館の入居者様の為にスタッフ一同頑張っていきます！(弓削田恵子)



ウチヤマグループ
第25回 **特別講演会**開催

【日時】平成29年4月8日(土)
【講師】櫻井よしこ氏

お申し込み・お問い合わせ (株)ウチヤマホールディングス
☎ 093-531-0966

第一部・講演会
【テーマ】「激動する世界と日本の進路」
【開場】13:00【開演】14:00
【会場】リーガロイヤルホテル小倉3階エンパイアルーム
【参加料】3,000円

第二部・櫻井よしこ氏を囲んでの懇親会
【会場】アサノパティオ 【講演会終了後】
【参加料】5,000円(食事・飲物付) 16:00頃～



30th
Anniversary
of the
founding

内山さわやか会 創立30周年式典

ウチヤマグループの取引先協力会「内山さわやか会」の創立30周年を記念して、2月7日にアサノパティオにて記念式典が行われました。会員企業の方々をはじめ、北九州市の北橋市長など来賓の方も多く駆けつけてくださり、約120名が参加して盛大に行われました。

内山さわやか会は、昭和63年6月に「内山会」という名前で発足しました。事業の拡大に伴って会員企業も増え、現在は85社が入会しています。



記念式典の冒頭には古賀佳契会長、相談役の内山社長から挨拶があり、来賓の方々からもお祝いの言葉を頂きました。ホールではチェロ、ピアノ、バイオリンによる生演奏が行われ、クラシックやポップスの名曲に加えてウチヤマホールディングスの社歌も演奏されました。また、会員の方への記念品として、石橋アート(株)の石橋高次社長が制作した版画作品が贈呈されることになり、石橋社長から作品の解説が行われました。

※石橋社長のプロフィールや作品紹介は、ホームページからご覧いただけます。
<http://ishibashi-art.com/>



STAR No.108

山本 光輝さん 25歳

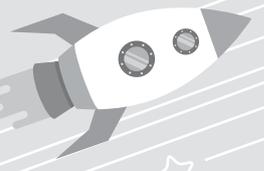
さわやか愛の家 もじ館/管理者
(福岡県北九州市)

元々、福祉関係の仕事に携わってきたため、さわやか倶楽部という会社やその取り組み、方針という部分にはよく知っていました。そんな中でタイミング良く求人が出ていたので、実際はどのように施設を運営し、またどのような会社なのかを確認してみようと考えて、面接をして頂きました。

面接では現在上司となった市丸統括が、会社の概要やこれからの目標を詳しく教えてくれました。面接の終わりには「ぜひ力を貸してほしい」と言って頂き、熱意につられてその場で入社を決意しました。

前職では、主にターミナルの方に対するADL(※1)やQOL(※2)の向上と維持に努めて取り組んでいました。現在は将来ある子供たちに向

光り輝くスタッフをご紹介!
キラリ★一等星



けての支援ということもあり、私自身も楽しく明るく仕事を全うできています。様々な理由で他の事業所では受入れ拒否になったお子様が、今現在、愛の家に定期的に通所できており、たくさんの経験や練習から出来ることが増えました。その成長を見ることが出来るのは、本当にうれしいです。

介護の分野ではデイサービスやヘルパーステーション、住宅型有料老人ホームの立ち上げと運営に携わってきましたが、障がいの分野ではまだまだ未熟です。これから多くの事業所の立ち上げに参加し、社内でも中核となれるよう、今のうちからマネージメント力を向上していきたいです。

(※1) ADL: 日常生活動作。食事・更衣・移動・排泄・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと。

(※2) QOL: 生活の質。どれだけ自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているかを尺度としてとらえる概念。



竹下 美穂さん [コロッケ倶楽部 大分本店] 大分県大分市

出勤時より外配をさせていただきましたが、人の通りが少なく、あまり成果は得られませんでした。しかし、通勤の途中で道案内をさせていただいた方が、来店して下さることになり、アルコール飲み放題の獲得をすることができました。

何気なくした1つの行動が、店の売上にも関わるということを再認識する良い機会となりました。時間帯的に今後も外配に多く出ると思うので、もっと通りすがりの方とコミュニケーションをとって、お店をアピールできたら良いなと思います。新年一発目の出勤から売上に貢献することができて良かったです。



大野 翔平主任 [さわやかめぐり館] 福岡県福岡市

吉原様の食事介助中に、こんな事を言ってくださいました。「あなたたちの愛情は、父や母の愛情に似ていますね。私は嬉しいです。感謝しています。」その言葉を聞いて、会社の理念がちゃんと守られていて、他スタッフも皆、慈愛の心を持って高齢者の方にケアができているのだと改めて実感しました。

公の場でみんなが見て、聞いている中で優しく言葉をかけるのは簡単ですが、吉原様の場合は居室内でのケアが主なため、私たちに本当の優しさがなければ、その言葉は聞くことができなかつたと思います。これからも『慈愛の心』『尊厳を守る』『お客様第一主義』を守り、お客様が少しでも幸せな時間を過ごしていただけるようケアしていきます。

皆さんの日報をご紹介します。
ウチヤマグループで働く

両親へ、感謝の気持ちを含めて：
産んでくれて、
育ててくれて、
ありがとう。



「さわやか鳴水館」福岡県北九州市 尾石 美香さん

私がこうして三十四年間、健康な体で生きてこれたのは、お父さん、お母さんのおかげだと心から感謝しています。

お父さんはあまり冗談を言わない性格ですが、何よりも家族を大切にしてくれました。私の誕生日には、大好物のハンバーグや唐揚げをお父さんが一生懸命作ってくれましたね。今でもあの味は鮮明に覚えています。

お母さんは共働きで毎日大変な中、学校の行事や授業参観には必ず参加してくれました。しかし、中学生の時に恥ずかしいという想いから、お母さんに「もう学校の行事には来なくていい」と暴言を吐いてしまいました。それでもお母さんは何も言うことなく、静かに私を見守ってくれましたね。

平成二十四年八月にさわやか倶楽部に入社し、長年の夢だった介護職として勤務しています。素晴らしい上司や仲間にも助けられながら今、頑張っています。今まではあまり親孝行らしいことは出来ていませんが、これからは少しずつ、何か恩返しが出来ればと思っています。今度、孫と一緒に別府の温泉旅行に行きましょう。

これからも色々迷惑をかけるかもしれませんが、しっかりと見守ってください。お父さん、お母さん、私を産んで、育ててくれて、本当にありがとうございます。



新成人の挨拶

「さわやかむなかたのもり」福岡県宗像市

佐藤 実果さん

私は先日、成人の日を迎えることができました。一月七日に、私が勤めている「さわやかむなかたのもり」で、吉岡取締役やエリア会議でいらしていた施設長の方々、古賀センター長や先輩方、入居者様にお祝いしていただき、とても感激いたしました。

私がかつて成長することができたのは、家族や学校の先生方、職場の方々を支えて下さったおかげです。私には障害があり、仕事に対して不安がいっぱいでしたが、入居者様の笑顔に励まされ、介護の仕事を頑張ろうと思えるようになりました。まだまだいろんな事を学んでいきたいと思っておりますので、今後もしっかり指導を宜しくお願い致します。

古賀センター長、いつもあなたかく見守って下さってありがとうございます。内山社長、これからももっと成長できるようにさわやか倶楽部で頑張ります。





バレンタインデー レク!

バレンタインデーレクのご様子を紹介します。バレンタインデーは女性が男性に愛を伝える日です。そんな今日は女性入居者様が男性入居者様に「これからもよろしくね」という気持ちを伝えるべく、チョコサンドクッキーにかわいくデコレーションをしてもらいました。

真剣な表情にて、チョコレート作りをされる入居者様。とても集中され、夢中になって楽しんでおられるご様子。

愛情を込めて作ったチョコを男性陣にプレゼントしていきました。突然のプレゼントに笑顔がみられ、喜んで下さいました。そして職員にも「いつもありがとう」とチョコを下さいました。作成したチョコレートと一緒に写真に写る安井機能訓練指導員。チョコの顔がご本人そっくりでビックリです。今後も利用者様の楽しめるレクリエーションを提供していきます。(竹内 義弘)



バレンタイン

もうすぐバレンタインということで、今年もさわやか喫茶では、チョコレートフォンデュをご用意いたしました。

あまーーーーい!お好みで食べたいものを選べるところが嬉しいですね。なんとといっても、すごいのは、串を刺している土台が発泡スチロールなんですけれども、美しく模造紙で包んであるところですね。見た目にも美しく、おいしいという、レク委員さんに脱帽です!!



甘いスイーツにうっとりされてます。右の写真は仲良しグループの友チョコでございますね。男性もにっこり!やっぱりもらって嬉しい!!皆さま喜んでいただけました!

職員からの愛がたっぷり詰まった甘いお菓子でした。(中出 有香)



避難訓練



避難訓練を行いました。館内放送にて、本当の火事ではない事を伝え避難訓練スタートです。各フロアにて職員が避難誘導を行います。「皆様、こちらです。落ち着いて動きましょう。」皆様、慌てることなく避難いたしました。

次は水消火器にて、消火器の使い方を教えて頂きました。消火器の正式名称はABC粉末消火器ということを教えて頂きました。Aは、普通火災・Bは油火災・Cは電気火災です。皆様、上手に消火器を扱えました。夜間に火災が起こった場合の対応も教えて頂きました。メモをとり、教えて頂いたことを頭に刻みました。初期消火が大事なので、各フロアにて今一度、消火器のある場所を確認し、本日訓練したことを生かしていきます。(大平 亮子)





珍客の登場!

こんにちは。今日はいそだ館に新米鬼がやってきました。新米鬼は階段を使ってフロアに行きます。「また豆投げられるんかあ〜」と…フロアへ行くと豆ではなく棒を持った入居様が待ち伏せ。「鬼の邪気を叩いて外にだすんよ!!」と日頃のストレスを鬼にぶつけていました。鬼はたまたま退散して、どこに避難したかというところ…デイサービスセンターで体操を一緒にされていました。一風変わった鬼退治に皆さま満足そうでした。(林 杏子)



節分の豆まき!



本日は節分、今年も室蘭館に鬼ちゃんがやってきました。皆で鬼退治です。力を込めて鬼退治。鬼ちゃんも入居様に囲まれて弱ってきてます。入居様のパワーに鬼ちゃんタジタジです。鬼ちゃん入居様には勝てず寂しそうに退散。

ではでは皆で豆を食べましょう。厄を払って無病息災です。今年も室蘭館は鬼退治大成功でした。(竹内 純子)



豆まき!



毎年恒例の赤鬼さんと青鬼さんとで螢風館の邪気を払ってもらいました。今年の青鬼さんはなかなか良いキャラクターの持ち主で御入居様の笑顔も多く見られ、「鬼は外」と力強く豆を投げておられました。



今年はスタッフが和紙で祓(かみしも)を作成しまして写真撮影も行いました。大変良く出来ていました。ご入居者様方からもお褒めの言葉をたくさん頂きました。

豆まきも無事に終わり、これで螢風館の邪気を追い払い福を呼び込む事が出来ました。今年もたくさんの福の恩恵を受けたいと思います。(中山 薫)



節分



今年もさくら山荘に鬼がやってまいりました。鬼さんは大きいお腹をした青鬼でした。皆様、一生懸命に豆を当てておりましたね。「オニは〜外〜」と大きな掛け声が聞こえました。



そしてオニさんから武器やかつらを奪って…今度は仮装大会です。「これ被ってみたかった〜」という方もおられたので、皆様順番に被って写真をとりました。それぞれの表情がとってもステキです。今年一年、無病息災で元気に過ごしていきましょう。(前田 敏彦)

「可能性」を引き出そう

人は、人との出会いによって、人生が大きく変わることがあります。優れた人の言葉や行動に触れることで、その考え方に共鳴して影響を受け、それまで自分でも気づかなかった大きな能力を開花させることもあります。

優れたリーダーは、ただ物事を教えるのではなく、仲間の「可能性を引き出す」ことを重視しています。人それぞれに性格や得意分野が異なっているので、リーダーには部下の個性を見極める能力が必要です。「可能性」を引き出すためには、心から相手の成長を願い、成功を喜ぶことが大切です。ウチヤマグループには、次に挙げる事例のように、部下やお客様の「可能性」を引き出せる素晴らしい人材が揃っています。

① さわやかレクサイド中の原の事例

北九州市の「さわやかレクサイド中の原」で勤務している森田直生（なおき）さんは、平成二十八年四月に八幡特別支援学校を卒業し、介護職員としてさわやか倶楽部に入社しました。最初は清掃やベッドメーカーキングなどの簡単な作業が主な仕事でしたが、何事にも一生懸命に取り組み努力家の森田さんに、周りの仲間も「彼ならもつとレベルの高いことができるのではないか？」と可能性を感じました。「出来る所」「出来ない所」の見極めを慎重に行いながら、全員で協力して彼の成長をサポートし、現在では介護業務全般ができるようになりました。

非常に勉強熱心な森田さんは、入社後に介護職員初任者研修の資格も取得しています。昨年十二月に行われた社内認定資格の「さわやか口腔ケア認定士の試験」にも挑戦しました。もともと努力家の森田さんは、口腔ケアの勉強を始めてから分らない所を先輩社員に質問し、知識と技術のレベルアップに努めました。また、テストの順番を待つ最後の瞬間まで、先にテストを受けている先輩達のケアの仕方を細かく見て、手を動かして練習していたそうです。今回の試験では受験者三百七十一名中五十二名が合格、うち十四名が満点合格でその一人が森田さんでした。

レクサイド中の原の職員たちは、最初から「出来ない」と決めつけるのではなく、森田さんの仕事に対するやる気と一生懸命努力する姿に心を打たれ、「大丈夫

夫？」「困ったことはない？」「できるようになってきたね」など、常に声掛けを行いながら成長を支えてきました。熱意と思いやりを持って接すると、相手は必ず応えてくれることが実証されています。

② さわやか愛の家なかい館の事例

北九州市にある放課後等デイサービス「さわやか愛の家なかい館」を利用してある児童の中に「アンジェルマン症候群」という重度の障害を持った児童がいます。主な特徴は、発達の遅れ、発語が非常に少ない、運動障害、てんかん発作、睡眠障害、色素異常、よく笑うなどがあります。

なかい館の各職員は、その児童のお母様と常にコミュニケーションを図っています。主な課題は「食事」と「トイレ」。利用開始当初は、トイレに行くことも出来ませんでした。本人の好きなおもちゃを持ってトイレに誘導するなど様々な工夫をしました。今でも自宅ではオムツを着用していますが、なかい館の利用時はパンツを着用し、職員と一緒にトイレに行くことが出来ています。

また、食事の形態を何度も変えて、どっししたら美味しく食べてもらえるかを試行錯誤しました。人の倍以上かかる食事時間も、他の児童にも協力してもらいながら、全員でサポートしました。自宅やレストラン等で食事をとる際は、落ち着きがなく、偏食があるそうですが、なかい館の利用時や、アサノパティオで毎月行われるさわやか倶楽部の職員誕生日会に参加した際は、出された食事を完食し、楽しそうに過ごしています。その姿を見られたお母様は、たいへん驚くと共に喜ばれ、なかい館の職員へ感謝の言葉を頂いています。

児童と関わる上で大切なことは、褒めてあげることです。なかい館の職員は、これはダメ、これもダメと否定するのではなく、児童の特徴や興味のあることから本人の意欲を見出し、社会性を身につける可能性、その第一歩を見事に引き出したのです。

③ 症例発表大会

さわやか倶楽部の介護施設では、入居者様・利用者様の生きがいづくりに取り組んでいます。他の施設では受け入れを拒否されるような困難な事例もできる限り引き受け、お客様一人ひとりに寄り添った介護を通じて、施設の中で生きがいを感じて楽しく生活して頂く取り組みに力を入れています。

職員の間わりによってお客様の状態が改善したり、生活の中で目標を達成できた際には、「症例発表会」として資料にまとめてプレゼンを行います。発表会の開催時は、自施設や近隣施設の職員、他、外部の病院や居宅支援事業所、地域の方々などにも広く声かけを行って、さわやか倶楽部の介護に対する基本的な考え方や取り組みを知って頂く機会にしています。

先日、一月二十一日には、各施設の症例発表の中から特に優れた内容をエリアごとに選抜し、本社にて「症例発表大会」が行われました。各エリアから選ばれた十施設の取り組みは、どれも素晴らしいものでした。その中で最優秀賞に選ばれた「さわやかおみや館」の取り組みは、本紙の今年一月号のこのコーナーで紹介した小林様の事例でした。ほとんど寝たきりで食事に対する意欲もなかった小林様に対し、職員全員が関わって根気強く声かけを続けた結果、食欲が増して表情も豊かになりました。一口ごとに介助が必要だった食事も、今では自分で箸を持って食べられるまでになり、生きることの喜びを日々感じて頂けています。そしてその変化を目の当たりにした職員たちにとっても、自分たちが持つ「可能性を引き出す力」に自信を持つきっかけとなり、他の入居者様に対しても、より生きがいを感じて頂ける取り組みを推進するモチベーションになっていきます。

これらの事例に限らず、それぞれの現場で人と人が交わり、思いを持って関わることで、小さな奇跡がたくさん生まれています。本人だけでなく家族でも気づかなかつた可能性を、日々のかかわりの中で少しずつでも引き出して相手の喜びに変えていくことができれば、私たちにとつてもそれはかけがえのない喜びとなって返ってきます。

素晴らしい人との出会いの他に、優れた書物との出会いもまた、人生に変化をもたらすきっかけとなります。本を読む習慣をつけることで、自分の無知を知り、自然と謙虚さが身につきます。最近私が毎月推薦する十冊の中で、伝記のシリーズから毎月一冊ずつ

紹介しています。私自身、過去の成功者の体験や失敗談に触れ、自分もやればできる！という勇気をもらいつつ、大きな目標を持つ仕事に情熱を傾け、努力を続けることの大切さを学んでいます。

今月の推薦図書『ザ・プリンシプル』の中に、「社員教育の原点は、成長を願う愛情です」という言葉があります。部下に成長してほしいと強く思えば、教育にも熱意を持って取り組むことができ、相手のことが常に気になります。そして、良いところを探して褒めることで相手がやる気になれば、仕事に対する意識も自然と高まり、結果としてお客様に対するサービスの向上へと繋がります。サックスカードを毎日書くことを皆さんに勧めるのもそのためです。逆に関心を持って見ていなければ、褒めるところを探すことも難しいでしょう。

人育成に必要なことは、部下に目標や方向性を示し、夢を与えることです。ただ押し付けるのではなく、部下の話に耳を傾け、責任ある仕事を任せることです。その中で、部下の得意なことや能力を見つけ、飛躍への可能性を引き出していきましょう。すべては「愛情次第です。愛情を持って見守りつつ、成功した時には相手を褒めて共に喜び、時にはアドバイスしながら成長へと導く過程は、親が子供を育てるのと同じです。ウチヤマグループの基本理念である「慈愛の心」には、そういった意味も込められています。

これからグループ全体で売上二〇〇〇億円、利益一〇〇億円という目標に向かって進むには、現場を引っ張っていく意欲のあるリーダーの活躍、若手社員の更なる成長が必要不可欠です。さわやか倶楽部では、九州以外の遠隔地の施設で勤務している管理者候補の社員を対象に、本社および近隣施設で毎月研修を行っています。過去の参加者からは、施設の管理者になる社員も出てきます。成長への意欲と人への愛情があれば、素晴らしいリーダーになれる可能性は誰にでもあります。仕事に情熱を注ぎ、仲間愛情を持って接し、毎日を楽しむことで自らの持つ能力を最大限に引き出し、会社や社会から必要とされる人材へ成長していきましょう。

- 6 どんなに体がかたい人でもベターツと開脚できるようになるすごい方法 (Eiko)
- 7 トランプは世界をどう変えるか? (エマニュエル・トッド/佐藤 優)
- 8 ソフィアのとつてもすてきなぼうし (ミシェル・エドワーズ 文/G.ブライアン・カラス 絵)
- 9 シートン動物記 狼王ロボ (アーネスト・T.シートン 著/清川 あさみ 絵)
- 10 えんとつ町のプペル (にしのみやあきひろ)

- 1 ザ・プリンシプル ~サム・ウォルトンが実践した経営の成功原則100~ (吉田 繁治)
- 2 ~伝記 世界を変えた人々~ キュリー夫人 (ビバリー・バーチ)
- 3 人工知能が変える仕事の未来 (野村 直之)
- 4 今どきの大人を動かす 「ほめ方」のコツ29 (吉田 たかよし)
- 5 河江肖剰の最新ピラミッド入門 (河江 肖剰)

今月のおすすめ
図書





Thailand バンコク✈️ 視察旅行

1月20日から23日にかけて、タイのバンコクでボナーが運営している居酒屋「かんできや」3店舗を視察する研修旅行が行われ、内山さわやか会から12名の方々が参加しました。

昼間はバンコクの市内観光や水上マーケットの視察、線路市場の見学などを行い、夜はかんできやのスクンビット店、トンロー店、pronpon店にてそれぞれ食事会を行いました。ウチヤマグループからは内山社長と経理部の時さんが参加し、現地で働く社員とも交流しながらの楽しい旅行となりました。



スクンビット店



トンロー店



pronpon店

Happy 結婚おめでとう Happy Wedding!



石原 稔さん&テイタポン・チョンシンさん

1月1日、無事に結婚式を挙げる事が出来ました。内山社長はじめ、多くの皆様に祝福頂き、感謝致しております。

結婚式を行ったタイ南部のナコーンシータマラートは、タイ有数の果物の産地です。9月にはマンゴスチンがたわわに実り、その多くは日本に向けて輸出されているとのこと。タイ産のマンゴスチンを見かけたら、思い出して頂けたらと思います。まだまだ未熟な2人ですが、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

かんできや スクンビット店 料理長・石原 稔

さわやか《ウチヤマグループの奨学金制度》 スカラーシップのご案内



ウチヤマグループでは、社員の福利厚生の一環として、「さわやかスカラーシップ」という奨学金制度を平成25年4月から実施しています。頑張っている社員の子供たちが、経済的な理由で希望の進路を絶たれることのないように、会社としてできる限りバックアップすることで、子育てしながらでも安心して長く働ける環境を整えるための制度です。

貸付金額は、申込時における年収の範囲内で、子ども1人に対して上限150万円、最大3人までとなっています。お子さんの進学で活用を考えている方は、本社・総務部で気軽にご相談ください。

我が家の王子様 Welcome, Little Prince



そうすけ 徳田 創祐くん

平成29年1月19日生まれ 男の子

頑張ってくれた妻、産まれてきてくれた創祐、支えていただいた皆様、誠に有難うございます。家族にたくさんの愛情を注ぎ、守り抜く為、日々精進してまいります。

★そうすけくんのパパ★
さわやか倶楽部
関西エリア エリアマネジャー
徳田 章光



さわやか 相談室



一人で悩まないで！
あなたのお悩み
話してみませんか？

お気軽にどんなことでもご相談下さい。お電話、メールお待ちしております！

電話番号 090-9497-5764
メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp